

## 神戸（表六甲河川）地域における取組み実績

箇所・取組	事業概要	目標単位	計画期間 目標数値	実績	判定
河川下水道対策					
河川対策					
①数値目標あり					
1 (二)妙法寺川	河口～広畠橋 河床掘削、河道拡幅、橋梁架け替え ※(JR,板宿,中流域,車)工区を除く	m	728	250	◎
2 (二)妙法寺川	車地区 広畠橋～準用河川妙法寺川合流点 河川整備	m	320	131	◎
3 (二)妙法寺川	[JR工区] JR山陽本線上下流 河床掘削	m	22	22	◎
4 (二)妙法寺川	[板宿工区] 宝田養老橋～明神橋上流 河床掘削	m	220	141	○
5 (二)妙法寺川	[車工区] 下八王子橋下流～準用河川妙法寺川合流点 河道拡幅等、橋梁架替 他	m	110	211	◎
②数値目標なし					
6 (二)妙法寺川	[中流域工区] 下与市橋下流～上与市橋上流 河道拡幅等、橋梁架替 他	m	-	-	-
7 準用河川 普通河川	用地買収・測試・工事等	m	-	610	-
③計画期間内の目標なし					
8 (二)新湊川	河口～庄田橋付近 高潮対策	m	-	-	-
下水道対策					
①数値目標あり					
9 三宮南地区	京橋ポンプ場、小野浜ポンプ場、中突堤ポンプ場 及び雨水幹線整備	ha	140	140	◎
10 和田岬地区	新和田岬ポンプ場及び雨水幹線整備（中部処理場 跡地雨水貯留施設含む）	ha	12	12	◎
11 浜添地区	ポンプ場及び雨水幹線整備	ha	8	0	×
12 長田南部地区	新南駒栄ポンプ場及び雨水幹線整備	ha	24	24	◎
②数値目標なし					
13 須磨浦通西地区	雨水幹線整備	m	-	-	-

※最新のフォローアップシート（R5年度実績）で判定

【凡例】

数値目標あり

○：達成できている ○：取組中である ×：取組み無し

数値目標なし

-：判定対象外

# 神戸（表六甲河川）地域における取組み実績

項目	No.	事業概要	判定※
流域対策			
(1) 公共施設、県営住宅、公園・学校・歩道での雨水浸透・貯留の取り組み			
1	(県庁舎) 雨水貯留タンク設置、駐車場透水性舗装等	<input type="radio"/>	
2	(県営住宅) 駐車場透水性舗装等	<input type="radio"/>	
3	雨水流出調整機能施設（オリフィス）設置	<input checked="" type="radio"/>	
4	雨水貯留浸透施設等の整備 等（公園）	<input checked="" type="radio"/>	
5	管理道路における歩道の透水性舗装	<input checked="" type="radio"/>	
6	雨水貯留浸透施設等の整備 等（学校）	<input type="radio"/>	
7	指定雨水貯留浸透施設の指定	<input type="radio"/>	
8	指定貯水施設の指定	<input type="radio"/>	
(2) ため池の活用			
9	事前放流の協力要請	<input type="radio"/>	
(3) 防災調整池の設置指導			
10	浚渫	<input type="radio"/>	
11	土地の改変面積が1ha以上かつ流出量が増加する場合、重要調整池設置と適正管理を義務付け	<input type="radio"/>	
12	開発区域面積が0.3ha以上かつ雨水の流出増をもたらす造成面積0.3ha以上の場合、防災調整池の設置を指導	<input type="radio"/>	
13	指定調整池の指定	<input type="radio"/>	
(4) 六甲山地における土砂・流木の流出抑制対策			
14	治山ダム、砂防えん堤等整備、人工林の間伐等を推進、表土侵食の防止対策、保安林・林地開発許可制度の適切な運用	<input checked="" type="radio"/>	
15	六甲山の森林整備	<input type="radio"/>	
16	六甲山系の防災機能強化 等	<input type="radio"/>	
17	砂防施設の整備、既設の基幹えん堤の補強・減災対策、「六甲山系グリーンベルト整備事業」を推進	<input type="radio"/>	
(5) その他の雨水浸透・貯留の取り組み			
18	各戸貯留や浸透樹等の設置	<input type="radio"/>	

※最新のフォローアップシート（R5年度実績）で判定

【凡例】

◎達成 ○取組中 - 制度等はあるが実績なし ×取組実績なし

# 神戸（表六甲河川）地域における取組み実績

項目	No.	事業概要	判定※
減災対策			
(1) 水害リスクに対する認識の向上（知る）			
	1	想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域の公表等（知るツールの整備）	◎
	2	避難判断水位、氾濫危険水位等の見直し	◎
	3	「出前講座」等を実施	◎
	4	浸水想定区域図の作成・公表等	○
	5	兵庫県CGハザードマップの充実	○
	6	「ひょうご防災リーダー講座」等を実施	○
	7	「市民防災リーダー研修」等の実施	○
	8	災害に備えた勉強会や水防訓練等の実施	○
	9	「出前トーク」等を実施	○
(2) 情報提供体制の充実と水防体制の強化（支える）			
	10	水防連絡会の実施	◎
	11	防災情報の提供体制の充実	○
	12	同報無線、移動無線の充実	○
	13	回転灯や電光掲示板による注意喚起	○
	14	注意喚起看板や水深表示板、道路冠水情報版等による注意喚起	○
	15	ホットラインの構築	○
	16	水害対応タイムラインの作成	○
	17	情報配信（兵庫県防災気象情報、兵庫県河川監視システム、兵庫防災ネット、フェニックス防災システム、河川モニタリングカメラシステム、レインマップこうべ250、緊急速報メール等）	○
	18	神戸市河川モニタリングカメラシステム、レインマップこうべ250、緊急速報メール等で情報配信	○
	19	防災福祉コミュニティ防災活動	○
	20	地域の防災訓練時に防災物資の無償提供などの支援	○
	21	既設河川防災ステーションの利活用促進	○
	22	防災拠点の整備	○
	23	地下施設管理者への情報提供、防災訓練や研修等の取り組みに対する支援	○
(3) 的確な避難のための啓発（逃げる）			
	24	「手づくりハザードマップ」の導入を推進	○
	25	地域における災害時要援護者の避難支援体制づくりの促進	○
	26	市内民間事業者等と災害時一時利用の協定を締結	○
	27	防災情報の提供体制の充実及び隣接市の避難所の相互活用を検討	○
(4) 水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備え（備える）			
	28	重要施設の浸水対策の検討	○
	29	指定耐水施設の指定	-
	30	地下空間への浸水防止対策、地下街利用者の避難計画の拡充	○
	31	「フェニックス共済」等への加入、促進	○

※最新のフォローアップシート（R5年度実績）で判定

【凡例】

◎達成 ○取組中 - 制度等はあるが実績なし ×取組実績なし

# 神戸（表六甲河川）地域 地域総合治水推進計画の主な取組み実績

## (H26～R4年度)

## 令和6年3月時点

## ■神戸（表六甲河川）流域 計画対象地域



## ■主な取組内容

### ■河川下水道対策

- (1) (二) 妙法寺川河川改修工事  
・護岸整備  
・中間橋脚の撤去  
・河床切り下げ  
(2) 三宮南地区浸水対策  
(3) 神戸駅周辺地区浸水対策

• • • 4  
• • • 5  
• • • 6  
• • • 7  
• • • 8

### ■流域対策

- (1) 公共施設での雨水貯留の取組み  
(2) ため池の活用  
(3) 六甲山地における災害に強い森づくり  
(4) 県民による貯留の取り組み

• • • 9  
• • • 11  
• • • 12  
• • • 15

### ■減災対策

- (1) 水害リスクに対する認識の向上  
(2) 報提供体制の充実と水防体制の強化  
(3) 的確な避難のための啓発  
(4) 備えるまちづくりと水害からの復旧の備え

• • • 16  
• • • 19  
• • • 22  
• • • 24



ながす

## ■河川下水道対策

### (1) (二) 妙法寺川河川改修工事

#### ○護岸整備

- 未改修の河道に護岸を整備して流下能力向上

改修前



改修後



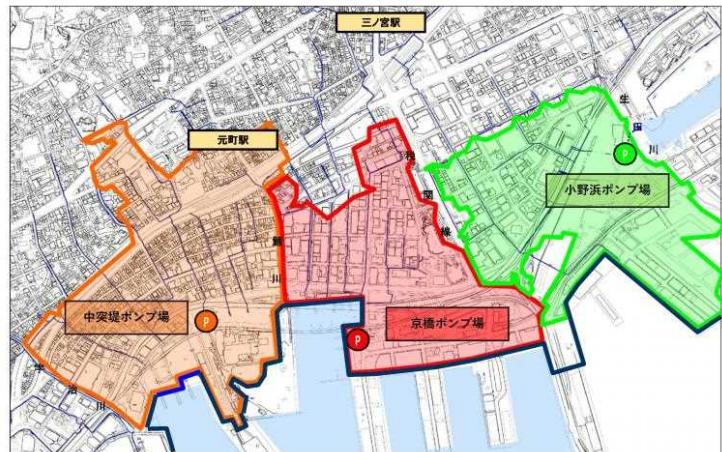
改修後





# ■ 河川下水道対策

## (2) 三宮南地区浸水対策



2004年9月(台風18号)による浸水（整備前）

- 三宮南地区全体（200ha）を3つの流域に分けポンプ場を整備



● 中突堤ポンプ場

● 京橋ポンプ場

● 小野浜ポンプ場

2015年7月には3箇所のポンプ場すべてが供用を開始

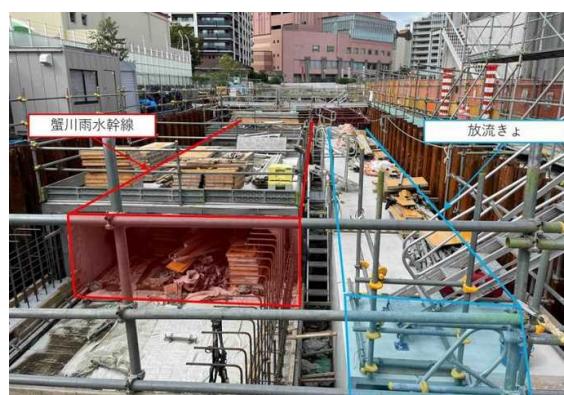
7

# ■ 河川下水道対策

## (3) 神戸駅周辺地区浸水対策

### ○雨水幹線、雨水ポンプ場や放流きょの整備

- 2017年台風18号、2018年9月には台風21号により、浸水被害が発生。
- 対策として10年に1回程度の確率で発生する降雨に対応する浸水対策を実施中。



神戸市建設局下水道部HPより

8

## ■流域対策

### (1) 公共施設での雨水貯留の取り組み

#### ○県営住宅の駐車場貯留

- ・県営住宅の建て替えに伴い駐車場貯留を施工  
(R5 : 2箇所 R6 : 1箇所 着手予定)
- ・中村住宅 V=60m<sup>3</sup> (H30)



貯留のイメージ（中村住宅）



10cm段差を作ることで  
貯留が可能！



9

## ■流域対策

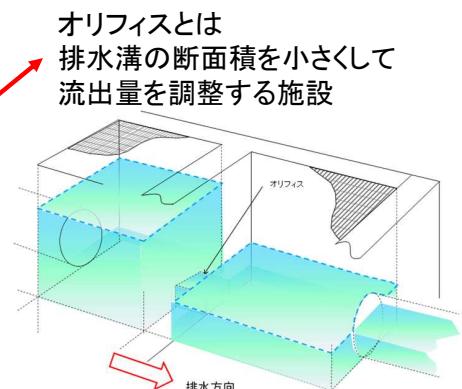
### (1) 公共施設での雨水貯留の取り組み

#### ○真陽南さくらグラウンドにおける流出調整機能施設(オリフィス)の整備



（平成27年8月完成）  
※阪神高速の工事の影響で一時撤去中(R5.9末時点)

#### ○雨水貯留タンクの設置（西神戸庁舎）



屋根に降った雨水を貯留

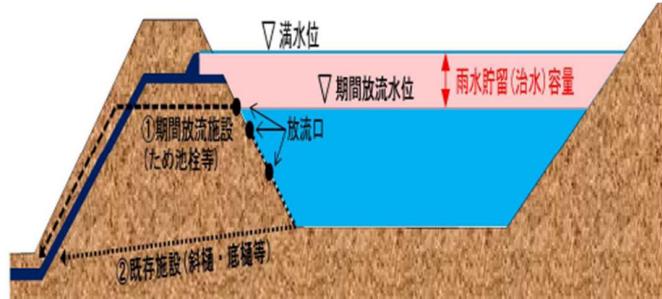
10

## ■流域対策

### (2) ため池の活用

#### ○車大池（須磨区）

- ・期間放流施設（放流口）の設置
- ・事前放流の協力



11

## ■流域対策

### (3) 六甲山地における災害に強い森づくり

六甲山地においては、国・県・市が連携して計画的に土砂や流木の流出抑制対策に取り組んでいる

#### ○森林整備

整備前



整備後



- ・植栽、下刈り、間伐を行うことで、森林の健全性が保たれ機能を最大限に発揮する。

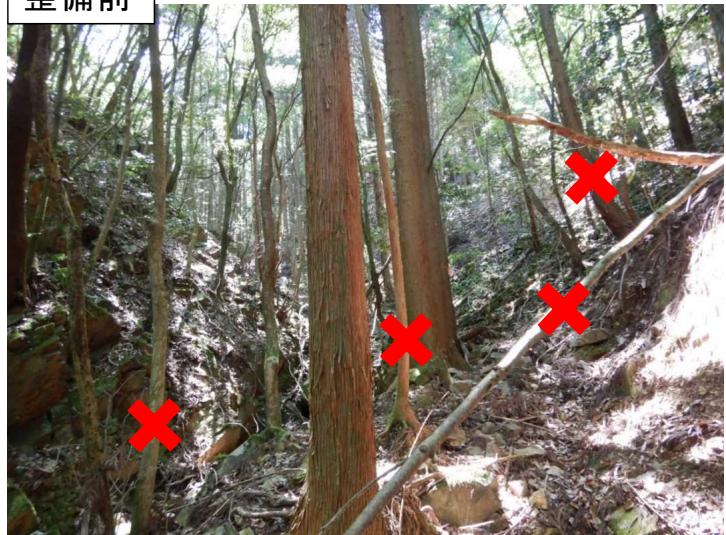
12

## ■流域対策

### (3) 六甲山地における災害に強い森づくり

#### ○緊急防災林整備（渓流対策）

整備前



整備後



✖️：危険木の伐採・搬出

#### ①危険木の伐採、搬出

渓流内にある倒木や枯損木、流木発生源となりうる危険木の伐採・搬出

#### ②災害緩衝林整備

渓流沿いの森林において、流木・土石流の発生による下流への被害を軽減するための森林を造成

13



ためる

## ■流域対策

### (3) 六甲山地における災害に強い森づくり

#### ○砂防堰堤

上流から流れてくる土砂や流木を捕捉することで、下流の人家や公共施設などを土石流から守る施設

整備前



整備後



- ・西ノ池川（西区） 新設堰堤 ※福田川水系
- ・「透過型えん堤」は平常時は流水を妨げず、大雨で土石流が発生した際に流木や土石を堰き止めて人家等を守る

14

## ■ 流域対策

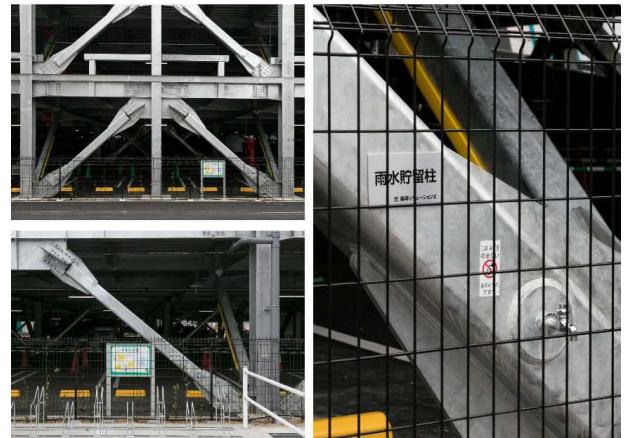
### (4) 県民による貯留の取り組み

#### ○ 民間企業の取り組み

- ・1本の柱に50~100Lの雨水を貯留
- ・貯留した雨水は、植物の水やり等に有効利用



イオンモール神戸南 駐車場  
(1階の柱10本が貯水柱)



雨水貯留柱

15



そなえる

## ■ 減災対策

### (1) 水害リスクに対する認識の向上（知る）

#### ○ 出前講座の実施



土木防災スクール（R1）



東灘防災フェスタ（H29）

#### ○ バスツアーの実施



東が辻2号砂防えん堤



石井ダム

災害にそなえて～かんじる～現地体感バスツアー（H29）

16

## ■減災対策

### (1) 水害リスクに対する認識の向上（知る）

#### ○兵庫県CGハザードマップの充実



県民がもっと  
「使いやすく」



スマホを使った  
体験学習



神戸高校CGハザードマップ  
出前講座 (H30)



CGハザードマップリニューアル (R5)  
(水害リスクを知るツールの整備)



防災学習アーカイブス



バーチャルハザードマップ



17

## ■減災対策

### (1) 水害リスクに対する認識の向上（知る）

#### ○水害リスクを知るツールの整備

- ・県と大学間連携によるプロジェクト  
学生の視点で作成された防災減災動画の作成



ぼうさい学生ニュース (HYOGOちゃんねるで配信)



兵庫県災害対策センターで打合せ



動画撮影の様子

18

## (2) 情報提供体制の充実と水防体制の強化（支える）

## ○河川情報の伝達

兵庫県河川監視システム

神戸市河川モニタリングシステム

## ○ひょうご防災ネット

ひょうご防災ネット  
スマートフォンアプリ！

【ひょうご防災ネット】は兵庫県および兵庫県内市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を利用可能なスマートフォンアプリです。災害時に役立つ情報をいつでもどこでもお使いいただけます。いつ発生するかわからない災害に備え、ぜひダウンロードしてください！

主な機能

- 避難に関する情報や各種気象情報を把握・通知！
- いつという時に備え「マイ避難カード」を作成
- 避難場所を地図で検索
- 12外避難行政区
- 防災訓練用ポーチ
- 音声読み上げ

ひょうご防災ネットへの加入PR

- ＜ひょうご防災ネットの主な機能＞
- 「マイ避難カード」機能を搭載
  - 避難情報や防災気象情報をプッシュ通知
  - 災害時に役立つ防災リンク集を装備
  - GPS機能を活用した最寄りの避難場所の地図表示
  - 12外避難対応や音声読み上げ機能、ピクトグラムを使用して、多くの方にわかりやすい防災情報

19

## (2) 情報提供体制の充実と水防体制の強化（支える）

## ○防災福祉コミュニティ防災活動



水害のVR体験  
千代が丘防災福祉コミュニティ (R4)

## OKOBE防災ポータルサイト

SONAE to U? KOBE公式ポータルサイト

緊急避難用 EMERGENCY 防災情報 マップ検索

HOME ホーム ACTION 認識する REVIEW 学習する STUDIO & QUIZ 初心者向け

ライタ内検索

Multilingual translation

防災特集

情報提供

## ○水防連絡会の実施

兵庫県・消防署・警察署  
と合同で行う水防訓練



水防訓練 (R5)



20

## ■減災対策

### (2) 情報提供体制の充実と水防体制の強化（支える）

#### ○増水警報情報



回転灯・電光掲示板・音声案内による注意喚起

#### ○啓発ポスター

- 小学生を対象に啓発ポスターを募集し、次年度のポスター図案として活用



R6年度 ポスター図案



R5年度 表彰式(灘区民ホール)

河川利用の多い夏の間は  
横断幕で回転灯の啓発活動  
を行っています



R5年度 川の安全利用啓発ポスター  
(R4年度応募作品を使用)

21

## ■減災対策

### (3) 的確な避難のための啓発（逃げる）

#### ○「手作りハザードマップ」の導入を促進



1.まち歩き



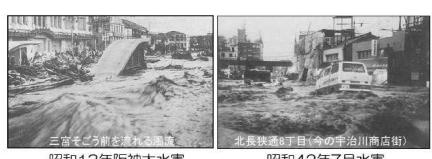
2.マップづくり  
菊水地区・手づくりハザードマップ (H27)



3.各班の発表

### 手づくりハザードマップ 作成マニュアル

～「ながす」「ためる」「そなえる」対策～



昭和13年阪神大水害

昭和42年7月水害

(令和2年3月改正)  
平成28年2月3日

兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所

手づくりハザードマップ  
作成マニュアル (H27.R2)

22

## ■減災対策

### (3) 的確な避難のための啓発（逃げる）

#### ○帰宅困難者支援システムの運用開始（全国初、4/1～運用開始）

- ・帰宅困難者がスマートフォン等で市のホームページや三宮駅周辺のサイネージ・看板等に表示する二次元コードからWeb上で一時滞在施設へ案内

##### 【搭載機能】

- ・一時滞在施設の検索、予約（チェックイン・チェックアウト機能）
- ・一時滞在施設への道案内
- ・交通情報などのリンクを表示
- ・多言語機能【日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、ベトナム語及び韓国語】



神戸市危機管理室計画担当

23

## ■減災対策

### (4) 備えるまちづくりと水害からの復旧の備え（備える）

#### ○重要施設の浸水対策



重要施設(電気設備)の浸水対策イメージ

#### ○水害に対する保険制度の加入促進



室外機等の高所化(西神戸庁舎)

**フェニックス共済**  
(水害に対する保険制度の加入促進)  
加入率（神戸地域）：7.3%

24

# 総合治水対策を進める上での課題と対応の方向性

計画推進を阻む大きな課題は見当たらず、着実に計画目標が達成されているため、現在の取り組みを継続する。

計画改定においては、気候変動の影響を踏まえたあらたな対策方針等を盛り込むとともに、最新の社会情勢等を踏まえる。

## 河川下水道対策

- 河川下水道対策は、県の「河川対策アクションプログラム」や神戸市の事業計画に基づいて着実に進めている。  
⇒ 引き続き河川・下水道の整備を計画的に進める。

## 流域対策

- 六甲山地における土砂・流木の流出抑制対策は、国や県、神戸市の事業計画に基づいて着実に進めている。
- 雨水貯留浸透施設の整備は、施設管理者との協議が整った箇所や、施設の新規整備や既存施設改修に合わせて着実に進めている。今後、県営住宅の建て替え計画が多数計画されており、併せて整備する駐車場貯留施設による効果が期待できる  
⇒ 引き続き土砂・流木の流出抑制対策を計画的に進めるとともに、貯留浸透施設による取り組み効果の見える化などで施設管理者の理解と協力が得られるように努める。

## 減災対策

- 洪水浸水想定区域の指定、浸水想定区域図の作成などは目標を達成しており、水位周知河川での避難判断水位や氾濫危険水位等の見直しも行った。
- 防災DXも活用し、あらゆる世代や対象に対し防災意識を啓発する取り組みも広がっている。  
⇒ 従来の避難啓発活動や防災情報の発信に加え、DXなどを活用したあらたな取組みも併せて防災啓発活動を進める。